

2011—2012 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー第2510地区
2011～2012年度 ガバナー 熊澤隆樹

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL (011)207-2510 FAX (011)207-2512
e-mail : rid2510@nifty.com



2011-2012年度国際ロータリーテーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

Reach Within to Embrace Humanity



国際ロータリー第2510地区2011-2012年度 地区目標

- I ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすこと
- II クラブは(全会員参加型の)新しい奉仕活動を年度内に一つ行うこと
- III まわりの人にロータリーを巧みに語り伝えること

CONTENTS | 目次

ガバナーメッセージ	1
第40回ロータリー研究会報告	3
ガバナーエレクト研修セミナー (GETS) に参加して	4
ロータリー財団地域セミナーを受講して	5
新しい年にロータリーの新しい組織形態を・・・CLPの導入	7
国際ロータリー日本青少年交換委員会(RIJYEC)北海道・東北・北関東ブロック研修会報告	9
苫小牧北RC協同奉仕委員会(ロータリー地域社会共同隊) 設立の趣旨・経緯	10
ロータリーの今昔、ロータリー理解推進月間に因んで	11
公式訪問報告	12
札幌大通公園クラブ10周年記念フォーラム/新会員のご紹介/訃報	17
クラブ幹事の変更について/ バンコク国際大会 日本人親善朝食会開催のお知らせ/文庫通信	18
米山寄付、ロータリー財団寄付/地区カレンダー(下半期)	19
出席率・会員数	20



『ロータリーって何ですか』

国際ロータリー第2510地区

2011-2012年度 ガバナー **熊澤隆樹**

(小樽RC)

あけましておめでとうございます。昨年の公式訪問では色々お世話を戴きありがとうございました。皆様のご協力のお陰で無事終わることができました。これからは皆様とはIM(都市連合会)と周年行事等が残されております。IMをグループ内の情報交換と親睦の場として大いに活用され、貴クラブの運営の活力となって戴ければと思っております。

さて今月はロータリー理解推進月間ですが、ポール・ハリス著の「ロータリーの理想と友愛(1935年、米山梅吉訳(1949年))」の一文をご紹介します。ロータリーとは何かを理解する一助となればと思ひ、新年の一報とさせて戴きます。

「ロータリーの理想と友愛」より

ロータリーは富豪階級然たる組織に向かおうとした。しかしイギリスにあってはあくまで商店主の国民であり、アメリカでは豚罐詰業者の国民であるように各国にはそれぞれの特色がある。そしてロータリーは両国いずれにも依然として有望であり、富める者も貧しき者も、公候も庶民も相携えてロータリアンになっている。……ロータリーは長年にわたって一定の方針をとってきている。すなわち各国のロータリー会員をしてその国々に最も良く適した仕方で、ロータリー精神を遺憾なく現わさしめる方針がそれである。アジアの希望は、必ずしもヨーロッパの要求と同一ではないものがある。すべての会員はロータリー精神を各々の地域に適合させ、そしてこれに満足を発見しているのである。……「会員の大多数は熱誠かつ親密な交情によって一致している。この親愛は自らこれを保持して行くのに十分なものであるが、ここに奉仕という理想を達成せしめるに当り、これより個人が団体の活動を激励するにはなお不足を感ずるところがある。ロータリーの友誼(広辞苑による友情)はそれ自身全く望ましいものであり、奉仕という理想の一概念に対して心理学的基礎を据えている」と。

さらに大学選出の委員の報告は「ロータリーの普及した友誼は、他の社交クラブや集会所に現われた友誼と似通っている。友誼はもとより必要であるが故に存在するのである。近代の都市文化はとかく人情を冷却し混乱させているから、何らかの親密な人格的關係が社会上の善徳として歓迎されるべきである。然るに実際友誼というものが望ましい種類の奉仕を助長させていない。故にその方策という問題が起らねばならない。……ロータリーはこの種の友誼を助長するために、種々の計画や団体事業に向って大いに力を致すべきであるという方策の問題が起こってくる」と。著者の見解は、会員の大多数がロータリーの事業に参加活動するに至ることを願いつつ、その事業を発展させまた興味を生ぜしめるようにたえず努力することを良策とする。…

ロータリーの異常な発達が巨額の資金を要することは自然の勢いであり、その財政は常に保守的であ



り健全でなければならない。毎年の経費は大きいように見えるがロータリーの社会奉仕の多くは世に益しておれば、費用は意とするに足りない。世界中のロータリアンはその運動のために現に全力をつくしており、仕事に見出す満足が彼らの受ける唯一の報酬である。……ロータリー財団なるものが、アーチと呼ぶ精励な一会員の理想と決心に基づき、重要な人道主義的事業のために有力な素地となることは確実である。正しい確信をもってロータリー会員はその将来をトし前途を眺めている。

さて、手続要覧によると、「ロータリー」という言葉をそれだけで使う場合、通常国際ロータリーとしての組織を指す。この言葉は組織の理念や原則をも意味する(ロータリー章典33.010.4)。国際ロータリー(RI)は全世界のロータリークラブの連合体である(RI定款第2条)。

ですから1905年から変化を続けている「ロータリー」の最近のそれをあらわすものとしてRIの戦略計画(長期計画)に示されているのが一番適切だと思いご紹介させて戴きます。そこには「私たちは、世界中の地域社会における人々の生活の改善に貢献するため、活発に行動力のあるクラブから成り、**人々から選ばれたる奉仕組織**である。そして私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの親睦を通じて、世界理解、親善、平和を推進する」と述べております。

また、「ロータリーって何ですか」という問いにロータリーの友(2011年2月号)でバネルギーRI会長エレクトは「ロータリーは、約120万人の事業と専門職務のリーダーが世界中から集まり、友情を育み、人道的奉仕を提供し、平和のために活動するボランティア組織です。非識字、疾病、飢餓、貧困、きれいな水の不足、環境問題に取り組んでいます。職業生活ならびに私生活において高い倫理基準を保つのがロータリーの確固たる信念である」と答えております。

ところで、今地区にとって近々の問題は会員数の減少です。2001年6月末に比べると2011年6月末には約3割の減です。地区はRIで言っている会員数、クラブ数はほとんど変化していません。ということでクラブに所属している会員数が単純に3割減しているということで、つまりはロータリー奉仕活動、特に地域への奉仕活動にはそれほど変化なく続いていることを示していることとなります。とはいうものの地区内全ての公式訪問を終えて感じたことは、クラブの会員数の減少が組織の弱体化を招いております。CLPで組織の建て直しが必要になっているわけです。それでも各クラブは様々な工夫をして地域社会への素晴らしい奉仕活動をしております。当地区で目立ったのは、第9グループの洞爺湖RC(会員数10名)のツー・デーマーチというウォーキング大会でのグループ内6クラブ(伊達、室蘭、室蘭東、室蘭北、登別、洞爺湖)31名の参加した奉仕活動は、ロータリーのイメージアップと認知度の向上でその働きを十分発揮されてこれからの奉仕活動の新しい糸口を示してくれました。そして新しい奉仕活動は、新たな親睦をグループ内の会員間に生まれてくれることが期待されます。私の所属している小樽RCで、3年未満の新会員21名が地区大会で大きな力となってくれました。これがこれからのクラブの活性化の力となってくれることとっております。クラブが力をつけると、地区が元気になり、それが日本のロータリーの元気を取り戻してくれることとおります。第2510地区からその元気を発信されることを期待して新年の挨拶を兼ねた一報とします。

良いお年を！



第40回 ロータリー研究会

国際ロータリー第2510地区

研修リーダー 塚原 房樹

(札幌東RC・PG)

近藤雅臣RI理事の召集で11月23～26日、2011年度の「ロータリー研究会」（国際ロータリーゾーン1、2、3）がカルヤン・バネルジーRI会長を迎えて大阪のリーガロイヤルホテルで開催されました。

主なプログラムは23日がロータリー財団地域セミナー、24日はガバナー会、GETS、RI会長歓迎晩餐会、25日は開会式後、RI会長の基調講演と各種報告があり午後から全員参加の本会議“plenary session”が2つありました。第1セッションは「戦略計画」、第2セッションは「職業奉仕」でした。26日は前日に引き続き本会議が4つありました。第3セッションは「会員増強」、第4セッションは「新世代奉仕」、第5セッションは「ポリオプラス」、そしてオープンフォーラムがあり、その後第6セッション「綱領翻訳問題」の報告がありました。



バネルジーRI会長の基調講演は、『ロータリーは灰色になっている。緑化しなければならない。新しい芽が必要。どこから活力を得るのか。若い人から。40歳代はIT、ソーシャルメディア時代。彼らにロータリー情報を発信するために、クラブにホームページを立ち上げるべきだ。しかし会員の写真が老人、男性ばかりでは若い人が入会したい気持ちが起こらない。またロータリー用語も、拡大、職業奉仕など一般にはわかりにくいので解りやすくしなければならない。費用は人頭分担金の50ドルは若い人でも払える。インドでは食事抜きで安い例会費のクラブが主流。日本でも検討してほしい。クラブのあり方に変化と改革を！』と強く訴えられました。

「戦略計画」では、RIは方向性を示すだけ、クラブ活動の原点である“back to basic”つまり「戦略計画」の原点は自分たちでやっていこうという事である。公共イメージを向上させるためには解りやすいロータリーブランドを作ることが必要とのことでした。

「職業奉仕」部門では黒田前RI理事より企業活動におけるCSRとISO26000（企業の社会的責任）について、「会員増強」では被災地における会員増強、Eクラブについての発表がありました。「新世代奉仕」部門では、RACT、IACT、RYLA、青少年交換が取り上げられました。「ポリオプラス」はホームストレッチのポリオ撲滅運動というテーマでポリオの現状が報告されました。「綱領翻訳問題」では分かりやすい和訳について報告がありました。また25日には「東北大地震と日本人の精神的支柱」と題して「皇室に学ぶ日本人の底力」という所功氏による講演がありました。またRI会長をはじめTRF管理委員長ビル・ボイド氏らを回答者としたオープンフォーラムがあり、活発な質疑がなされました。いずれも早朝から夕刻まで缶詰めのハードなスケジュールでした。

なお限られた紙面の都合上、主なプログラムをご紹介します。ご報告といたします。



ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)に参加して

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト **細川好弘** (静内RC)

2011年11月24日、大阪においてガバナーエレクト研修セミナー (GETS) が開催されました。招集者であります近藤雅臣RI理事 (千里RC)、小沢一彦ロータリー財団管理委員 (横須賀RC) を始め、松宮 剛RI理事エレクト (茅ヶ崎湘南RC)、2012年RI研修リーダー桑原 茂コーディネーター (塩釜RC) 他、現研修リーダーの皆様のご挨拶があり34地区ガバナーエレクト全員出席で研修が始まりました。

日本人では30年振りの田中作次RI会長エレクト (八潮RC) より、2012-13年度に向けて現在進められておりますプログラム等について報告がありました。

- ①ロータリーカード入会の促進 (ポリオ撲滅と東日本大震災復興支援として対応)
- ②日韓親善会議を2012年8月下旬に東京で開催。
- ③世界平和会議を2013年5月17、18日に広島市で開催 (田中RI会長年度主要プログラムとしてベルリン、ホノルル、広島市と3ヵ所で開催すべく準備をされております)

等が主な案内でありました。

尚、桑原次期RI研修リーダーは2012年3月9日、シカゴでのコーディネーター研修を受けられ3月下旬に次期のための研修会を東京で開催することを予定しております。詳細は未定ではありますが、ガバナーエレクト、地区会員増強委員長、地区職業奉仕委員長の義務出席が予定されているようです。

田中RI会長エレクトは現在奥様と共にアメリカに住まいを移され、次年度に向けて世界中を駆け巡っておられます。最新のコメントとして『出来ない事を考えるより、出来る事を考えてほしい』と伝えられております。

34名のガバナーエレクトは、次年度の取組みについて情報交換をしながら効果的な年度にすべく検討が進められました。2012年1月15日から開催される国際協議会で田中作次RI会長エレクトより2012-13年度のRIテーマが発表されますが、次年度の目標等についても楽しみにしながらサンディエゴでの再会を誓い閉会しました。



ロータリー財団地域セミナーを受講して

地区補助金委員会

委員長 久保田 俊昭

(札幌RC)

表題のセミナーが2011年11月23日に大阪国際会議場で開催され、当地区からは熊澤ガバナー、細川ガバナーエレクト、岩城パストガバナー（財団委員長）、佐藤パストガバナー、鍋谷財団資金推進委員長、坂下財団資金推進委員と小生の7名が受講して参りました。

今回の会議では、東日本大震災に伴う「復興基金」の適用方策や、「未来の夢計画」の進捗状況、そして「恒久基金」や「ロータリー平和フェロー」の現況などについて説明を受けました。

当地区としても、いち早く「大震災救援奉仕プロジェクト委員会」を立ち上げて、これが対応策を講じている所であり、また、2013年度から本格実施される「未来の夢計画」のスムーズな展開に向けて、財団関係の地区組織を改組して対応策を検討しており、今回のセミナーは時宜を得たタイムリーな催しと言えます。

以下に、受講感想を含めての概要を記します。

1. ご挨拶

・ビル・ボイドTRF管理委員長（2006～07年度RI会長）：大阪で旧い友人に会えて嬉しい。「未来の夢計画」の本実施により、今後ますますロータリアンのスキルを示す場が増える。ポリオ撲滅後に六つの重点分野において、全世界120万人がパワーを発揮し、ロータリーの方向性を明示できることは意義あることであり、これからの展開に心躍らせている。

・小澤一彦TRF管理委員：夢計画によってクラブや地区での自主性がより発揮でき、事務の簡素化がはかれるので、各種奉仕活動が活発に行われることを期待している。財団への寄付行為に誇りを持ち、寄付への評価が高まるような方策（表彰等）を実施されたい。

・近藤雅臣RI理事：日本の会員数の減少や大震災の影響もあって、活動の停滞感が否めないが、全世界での会員数3位、寄付金総額2位のポジションは維持したい。ポリオは終結に近く長い間の努力が実りつつある。広報下手によるのかその成果が高く評価されていないのは残念である（何事にも広報に力を入れねばならない）。

2. 東日本大震災と復興基金支援事業

・世界から寄せられた基金額は総額580万ドルと、過去の同種災害への義援金に比して大きな金額が寄せられた。



- ・復興基金の早期支給に向けて日本委員会の設置を認めて頂いた。現在164件の申請を受け、全審査を終えている(過去の事例では一年間で50%止まりの進捗)。
- ・震災に伴う復興支援は全国から寄せられているが、被災地への救援には時間経過と共にその要望内容が変わることを留意せねばならない(支援内容としては、発生直後の食糧→医薬品→住居→就労→心のケアへ)。

3. 2億ドルチャレンジと終結とその後(説明者:江崎柳節ZCC)

- ・2億ドルの目標に対して、11月11日時点で195,200,000ドル達成。
- ・発症国は、4か国のみ(インドはゼロ、ナイジェリアは減少、パキスタン、アフガニスタンで数件発症)。

4. 未来の夢計画の試行状況(パイロット地区での進捗状況)

- ・補助金は、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種に大別されるが、グローバル補助金活用による事業(国際奉仕、職業研修、奨学金)を展開するには、多少の難しさがある(スタート当初は、1クラブ単独での「グローバル」活用よりも、数クラブ共同による事業、或いは地区との共同申請で始める方が効果的であろう)。
- ・奨学金や職業研修に関しては、色んなバリエーションが考えられ、また地区での裁量は増えるが、成果の持続性、相手先との対応協議等で適用条件をクリアせねばならないので、事前準備に慎重な対応を要する。

財団の「未来の夢計画」については、目下、全世界の100パイロット地区(日本では6地区)で試行が続けられており、2013年度から全世界で本実施されます。当地区では既に本実施に備えて財団関係の委員会組織を改組して取り組みを加速させており、また地区の関係委員会との連携強化を図ることとしております。

なお、新しい補助金の計画から活用に至るまでには少なくとも2年間を要し、またクラブとしても補助金受給の参加資格条件を満たしておく必要があります(例えば、グローバル補助金専用の銀行口座の開設、財務管理の確立、書類の保管、覚書への署名等)。

地区としても、PETSや地区協議会で説明をさせて頂き、また必要に応じてクラブ卓話等をして参りたいと考えておりますが、各クラブにおかれましても、新しい補助金の活用策について事前検討をなされ、新しい仕組みでの奉仕活動を積極的に実践されますことを期待しております。



新しい年にロータリーの新しい 組織形態を・・・CLPの導入

国際ロータリー第2510地区

2011-2012年度 ガバナー **熊澤隆樹** (小樽RC)

今年度、私は『形から入るCLP』を提言しております。また、過去2ケ年の調査にもとづく答申をクラブ奉仕委員会よりうけ、第2510地区のCLPモデルを委員会と協議して参りました。

このほど試案を得ましたので、皆さんへ報告いたします。

CLPへの取り組み

2000年以降、国際ロータリーは活動を国際社会に訴える目的から、機構・進路の再検討を行い、『ロータリーとは国際奉仕の団体である』との見解によりクラブ組織の変革を提唱しております。

2004年、RIはクラブ組織の変革案『クラブ・リーダーシップ・プラン』（新しい推奨クラブ細則）を提唱しました。

これをうけ第2510地区では2008年度よりクラブの再編に取り組み、CLPと並行して進めるDLPによる組織の改変を実施し、クラブのCLPの採用の準備を整えました。今年度、私は公式訪問に伺い、各クラブのCLPの採用をお願いしております。

CLPの導入は**奉仕の第二世紀においてロータリーが安定、成長、成功を遂げるための組織の改変です**。クラブ組織を効率の良いものにし、会員の拡充を図り、奉仕活動を効率のよい、社会から眼に見える形にするのが主眼です。また、RIの事業に積極的に参加し、地域と国際社会の結びつきを強固にするのも目的です。

第2510地区内のCLPへの取り組み

地区では先行クラブについて過去3年間、調査を致しました。これらのクラブの多くでは、CLPの5常任委員会のクラブ組織形態を採用している一方、これまでの5大奉仕を奉仕プロジェクトの小委員会の形で残しています。結果として、改変前の組織とCLP採用後との違いが不明確になっている面があります。

「CLPを採用してみたけれど、一体これまでと、どこが違うのか」といった感触をもつクラブもあります。

ここで奉仕プロジェクトの形態を不明確にしているのは職業奉仕の領域です。わが国におけるロータリーの発展の原動力は職業倫理です。ロータリーの創成期に職業奉仕が社会に果たした役割は極めて重要で在り、職業奉仕なくして、ロータリーを語ることは出来ません。

一方、CLPの奉仕プロジェクトで取り扱うのは職業奉仕の対外的な活動領域です。『何でも相談』『出前授業』等がこれに当たります。したがって、職業奉仕の『クラブでの内向きの領域→職業倫理』と一線を引き、ロータリークラブの原点でもある職業倫理の領域を今後のクラブのアイデンティティーづくりの場での研修事項とし、研修での一つの柱として扱うという考えを私は持ちます。

CLPモデルの提案

また、CLPについて引き続き勉強するための協議の場を必要としている、との指摘も多く見られます。これはCLPが良くわからないので採用を当分見合わせる、と言う立場をとるクラブと共通する状態といえます。



この状態に応える組織として、3～5年の時限の『CLP特別委員会』を採用に際して設置することを考えました。クラブの改変の目標・年次計画を設定し、実行してゆく主体を明確にすることが必要です。また合わせて職業倫理もこの特別委員会の所掌とします。

次に、CLPを取り入れ、これを実のあるものにするには、クラブ内での新会員、会員の継続的な研修が欠かせません。この研修プログラムの充実のためには地区にRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）などの研究部門を設けることも必要になると思います。これ等を反映したのが第2510地区推奨CLPモデルです。

第2510地区推奨CLPモデル

クラブ理事会	常任委員会	CLP導入のポイント	小委員会を設置する場合
<ul style="list-style-type: none"> ・会長・直前会長 ・会長エレクト・副会長 ・理事・幹事・会計 ・会場監督 	CLP特別委員会	①『効果的なロータリー・クラブとなる』ためのクラブ運営目標を立案する	
		②立案を実施する長期年次計画の設定する	
		③設定の年次目標を実施する	
		④実施の継続にむけて年度から年度への指導者の育成する	
		⑤クラブ細則を独自に修正する	
		⑥日本のロータリークラブの特徴である『職業倫理』を研究・研修を行う	
	クラブ管理運営 (クラブ幹事・会計が参加)	①クラブ管理運営を行う	例会プログラム 出席 クラブ会報 雑誌
		②定期的な親睦を深める機会を設ける	親睦活動
	会員増強	①会員基盤を維持拡大する	会員勧誘・会員選考・職業分類
		②包括的な研修を立案し実施する『クラブレベルの研修プラン』を作成する	会員候補者の教育 新会員のためのオリエンテーションと教育
		③定期的かつ首尾一貫した『クラブレベルの研修プラン』を提供する	会員の継続教育・退会防止
	クラブ広報	①ロータリーに関する情報を対外的に提供する	
		②奉仕プロジェクトや活動を広報する計画の立案し実施する	
	奉仕プロジェクト	①成果のある対外的な奉仕プロジェクトを実施する 『眼に見える、成功する奉仕プロジェクト・社会のニーズを取り上げたプロジェクト』を取り上げ、成功させる	職業奉仕 社会奉仕・人間尊重・地域発展 世界社会奉仕・地球保全 共同奉仕・募金活動 ロータリーボランティア 新世代奉仕（青少年）
		②会員全員が活発に関与するプロジェクトとする	
ロータリー財団	①ロータリー財団を支援する		
	②世界と係わる機会を持つ		
	③米山奨学を支援する		
その他の特別委員会			
クラブ協議会	①会員の計画参加と活動情報の伝達のためのクラブ協議会を実施する		
地区研修・RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）との連携をとる	①クラブと地区とのコミュニケーションを確実化する		
	②クラブ・レベルを超えた指導者を育成する		

このモデルは会員数20～50人を対象にしておりますが小規模クラブでは『クラブ運営管理と会員拡大を一体化したクラブ内委員会』と『広報と奉仕プロジェクトを一体化したクラブ外委員会』とすることが望まれます。また50人を越える大規模クラブではクラブの実情に応じた小委員会を設置する形を提案いたします。次年度のクラブ組織を考える時点で、是非ともこのモデルを参考にいただければ、と考えております。

（2012年1月、地区クラブ奉仕委員会より『CLP報告2011-2012』を送付予定です）

国際ロータリー日本青少年交換委員会 (RIJYEC) 北海道・東北・北関東ブロック研修会

地区青少年交換委員会

副委員長 **出口 修**

(札幌西北RC)

2011年11月12日(土)札幌サンプラザにおいて、(NPO法人)国際ロータリー日本青少年交換委員会(RIJYEC)北海道・東北・北関東ブロック研修会が開催されました。このブロック研修会は、各地区での青少年交換への理解を促進する目的で随時開催されており、今回は、東日本大震災後の青少年交換に関わる対応を学ぶため、北海道・東北・北関東(RIの定める第1ゾーン)に広く呼びかけての実施となりました。

当日は、RIJYECから斉藤直美理事長(豊田RC/PDG)・黒田勝基研修委員(高浜RC)・高橋晃研修委員(海老名RC)・大森順方研修委員(東京北RC)をお招きし、当地区からはRIJYEC社員である丸山淳士PDGが講師として参加しました。



地区外からは、ガバナーエレクト、地区幹事、地区新世代(ローター・インター・青少年交換)の各委員長・副委員長・委員他25名、当地区からは、細川ガバナーエレクトをはじめ、クラブ会長、クラブ幹事及びクラブ新世代・国際担当委員長、副委員長、委員他35名、そして、当地区の派遣帰国学生(ROTEX)2名の計62名という大変多くの皆様に参加いただきました。

【11月12日 ブロック研修会プログラム内容】

開会挨拶	斉藤直美理事長
RIJYECについて	丸山淳士社員
危機管理について	高橋晃研修委員
全国統一マニュアル	黒田勝基研修委員
ROTEX活動の意義	大森順方研修委員
交換学生体験発表	江頭綾乃さん(米国7170地区ROTEX) 村重カンナさん(米国5100地区ROTEX)



研修会後に開催された交流会には、当地区の受入学生6名も加わり、懇親を深めると共に、青少年交換について熱い議論が交わされました。

尚、来年4月28日と29日の二日間にわたり、国際会議・第17回国際ロータリー日本青少年交換研究会『札幌会議』が札幌パークホテル(札幌市中央区)で開催されます。国内はもとより、世界各国からロータリアンが出席いたします。当地区からも多くのロータリアンに参加いただき、新世代(ローター・インター・ライラ・青少年交換)について学び、語り合いたいと思います。





協同奉仕委員会 (ロータリー地域社会共同隊) 設立の趣旨・経緯

苫小牧北RC協同奉仕委員会 (RCC)

委員長 紺野 誠一

約15-6年前頃より、苫小牧市内の中学校で、苛めに依ると見られる生徒の自殺が相次ぎ教育現場に暗い影を落としました。又高齢化の進む独居老人の抱える悩みも大きな問題となり、社会のニーズに何とかと救いの手を差し伸べ無ければとの思いを強く抱くようになりました。

クラブとして、この社会の諸問題に対処するには、地域の方々と協力し合って奉仕する「苫小牧北ロータリークラブ提唱家庭生活カウンセリング協会」(以下協会と称します)を設立し、これらの悩める人々の心の支えに成って頂けるカウンセラーの養成が急務と考えました。地域の方々、特に小中学校長会の御協力を頂き1995年8月8日「苫小牧北クラブ提唱苫小牧家庭生活カウンセリング協会」の設立の実現を見、10月29日RIの認証を頂きました。

以来16年間、協会会長・会員と当クラブの歴代の会長・会員の弛まぬ努力と、真摯なボランティアに依り友愛の精神を発揮して居る所で御座います。

ボランティア活動の人材育成の為、カウンセラーの養成講座を行い、現在まで3級341名・2級131名・1級21名・教育カウンセラー19名を輩出しております。

活動と致しましては、電話による家庭一般の相談と面接相談、胆振一市七町村からなる被害者連絡協議会、苫小牧警察署の委嘱を受けた「被害者相談室」の相談を行っております。その他、協会のクラブ活動として高等学校の出前相談・病院のボランティア・老人クラブに於ける出張ボランティア等を行っております。この様に地域に根ざした活動を通し、心のケアを始めカウンセリングマインドの普及に努めております。このようにして私達の信条である「他者への思いやりと助け合い」の心をロータリアン・協会会員・地域の方々の人々と共に、手を取り合って推進していく事を念頭に活動しております。



2級カウンセラー養成講座の様子

ロータリー地域社会共同隊は西日本・中部日本に多く設立され、愛知県の豊橋ゴールデンRC以北には当クラブ提唱のRCCのみで関東・東北には御座いません。

RCC活動目的手段の分類としては、福祉・教育・地域サービス・伝承・国際奉仕の5大別がございます。

ロータリーの今昔、 ロータリー理解推進月間に因んで

青木 功喜

(札幌東RC)

はじめに：札幌東ロータリークラブに入会した1979年からの32年間でロータリーも本当に変わりました。この間17年、青少年交換、GSE、財団、国際、補助金の地区委員会にも携わりましたので、地区の今昔をのべます。

例会出席率の推移：ロータリーに入会した当時、出席率は99.4%で小数点以下の出席競争でした。30年前米国でmake upした際80%台で、GSEチームリーダーとしてカルフォルニアに行った時は70%台が稀でありませんでした。その後morning clubができ、make upも1週間から2週間に延長されましたが、我が地区の出席率は低下の一途をたどり、本年9月現在85.1%です。

単年度から複数年度奉仕：ロータリーは個人奉仕する意欲の旺盛な職業人を育成していく場であり、その奉仕自体が訓練です。このため奉仕は単年度で終了し、複数年度に及ばないのが原則でした。運営は会費で、奉仕は寄付で行なうのが原則で、自腹を切って奉仕をするのが当然でした。

個人奉仕から団体奉仕：個人奉仕から効率の良い団体奉仕に変わり、会員がクラブも地区もお金を集めることに熱心になり、人の禪で相撲をと風が強くなってきています。一方では生活が安定し、面倒なことはお金で済ませる無関心な人も少なくありません。

会計監査の必要性：入会者が減少し会員数の維持が困難になると、クラブも地区も運営が年々きびしくなり緊縮化が望まれます。年度末の活動報告はマンネリ化し、その監査は充分とは言えません。クラブも地区もその運営の総括を加味した監査の必要性が年々増えています。厳格な監査で、運営は簡素化にして、米国並みの会費の減額が必要となっています。

ロータリアンの減少：30年間の地区会員数は4,000人台から2,663人に激減しました。組織が成果を目標に活動すれば、理念よりも数字が一人歩きして、ロータリーの原点が見失われ、時には会員相互の友情さえも冷却します。マンネリ化した表彰の旧態依然とした地区大会では、単なる数集めでは、積極的な出席の意欲が生まれません。

財団の活動：財団(RF)の委員会は複数の元RI会長から成り立ち、RIとRFという2つの組織によって運営されています。委員の経歴から当然RFがRIをリードして進め、失明予防のライオンズに対するポリオ撲滅のロータリーになっています。そろそろ米山奨学金制度という我が国独自の奉仕活動に絞るべきです。

終わりに：この30年間、会員数が減退し、例会出席率も低下し、個人奉仕から団体奉仕へと財団主導の奉仕に変わり、本来の職業人としての品格の育成の場から成果重視の組織に移ってきています。100年以上経って組織はマンネリ化し、坂道をころがり始めているようにも見えます。もっと緊張感をもってロータリーの原則に立ち帰る時ではないでしょうか。

With malice toward none. With charity for all. (誰にも悪意を持たず、すべての人に慈愛を) 新渡戸稲造



公式訪問報告

千歳セントラルロータリークラブ……10月25日(火)

地区大会が終わり10日後に行われたガバナー公式訪問例会でした。予定時刻より早く到着された熊澤ガバナー、大坂ガバナー補佐、松倉地区幹事と共に「窓の無い隠れ家?」のような事務局にて懇談会で使用する会場の準備が整うまで小休止をして頂き、その間「藤原正彦先生の講演」に関する「講演内容の素晴らしさや熊澤ガバナーの思い等々」について楽しく談笑出来、程好い緊張感を持って懇談会、理事会へと移れました。スタートは私達の現在までの活動内容をまとめた映像をご覧頂き、その後、今後のクラブ運営、事業活動に役立つご指導を数多く頂きました。懇談会、理事会を通して私達の事業活動に対する「この上ないお褒めの言葉」を頂きました。そして又、更にクラブがステップアップする為にポイントとなる「要覧の活用」等についてもご指導を頂きました。例会では羽生会長方針にある「四つのテスト」を活かした全員参加型の運営に関わるご示唆に富んだお話しを頂き心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



余市ロータリークラブ……10月26日(水)

10月26日(水) ホテル水明閣にて熊澤隆樹ガバナー、谷内馨一第6グループガバナー補佐、半田事務局長を迎えて公式訪問が行われました。

午前10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会、12時30分よりガバナー公式訪問例会を開催致しました。

会長・幹事懇談会、クラブ協議会では各委員長の活動状況に対して熱心なアドバイスを戴きました。例会には、ガバナーの経験などをもちえて講話を戴き、盛会のうち無事例会を終了致しました。これからも熊澤ガバナーの益々の御活躍をお祈り致します。



滝川ロータリークラブ……10月27日(木)

10月27日(木) 熊澤隆樹ガバナー、滝勝美ガバナー補佐をお迎えし、会長・幹事懇談会、クラブ協議会、ガバナー公式訪問例会が行われました。懇談会での熊澤ガバナーからのお話は、専らCLP導入についてでありました。導入手法についてご教授いただきました。協議会については、ガバナーは滝川RCのことを良くご存じで、様々なご示唆をいただきました。ガバナー公式訪問例会では、クラブの会員数の減少について各地区レベルと世界レベルの両方で取り組むべきで新会員には、ロータリーの知識を豊富に身につけてもらい、やる気を起こさせる様なプログラムを計画しそれに参加する機会を与えなければならない事などRI会長のコメントを通して説明されました。最後に地区大会参加のお礼をおっしゃっていましたが、私たちの方こそ歓待していただきありがとうございました。



札幌南ロータリークラブ……10月31日(月)

10月31日(月)、第2510地区熊澤ガバナー、第5グループ齋藤ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

会長・幹事懇談会の後、クラブ協議会を行い、クラブ奉仕6委員会の委員長、社会国際奉仕5委員会の委員長、会計、会場監督から活動状況を報告し、ガバナーから会員増強の必要性や全員参加型の奉仕活動の重要性等について講評をいただきました。

第2618回例会では、冒頭に当札幌南ロータリークラブの伝統である「なごやぎ」の精神をこれからも大切にしてくださいと述べられ、本年度のロータリーのテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」を実践するために、一番大事なのは家族であり、すべての奉仕活動もここから始まることなどについて、わかりやすくお話しされ、大変有意義に公式訪問は終了しました。



北広島ロータリークラブ……11月1日(火)

平成23年11月1日、熊澤ガバナー、大坂ガバナー補佐、伊藤地区幹事を迎えてのガバナー公式訪問が実施されました。

10時からの会長・幹事懇談会では、ガバナーより、これまであまり知られていなかった「ロータリー研究会」についての報告をしていただいたほか、会員増強に関して、新会員の地区大会の参加費を各クラブで負担する(入会金を参加費に充てる)、各クラブにおいて新会員向けのセミナーを実施するなどの方策を検討してはどうかという提案がなされました。

その後、11時からクラブ協議会、12時15分からは例会が開催されましたが、そこでも会員増強に向けたクラブでの活動の方向性について説明をしていただきました。大変参考になるお話が多く、今後のクラブ運営等に役立てていきたいと思えます。



札幌ロータリークラブ……11月2日(水)

11月2日(水)熊澤ガバナーの公式訪問を頂きました。10時より熊澤ガバナー、石谷ガバナー補佐と廣川会長、庭山会長エレクト、加藤幹事の5名で会長・幹事懇談会を開催し「ロータリー研究会」の素晴らしさを中心にお話し頂きました。11時からはクラブ・アッセンブリーが開催され理事、役員、委員長が参加しクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の各委員長から事業報告を含め活動報告がなされました。熊澤ガバナーからは特に「若い人と語ろう会」などは参加される若い人達が自ら企画する事が出来るようになれば、更にレベルアップする等ご助言を頂きました。

12時30分からは例会が開催されました。30分の卓話でしたが、これからのロータリーのあり方を「世界社会奉仕」「戦略計画」「人道的奉仕」など新しい視点から熱く語られました。

札幌ロータリーの変身にも踏み込んで期待を頂きながらお話されました。辛口な部分も多少御座いましたが愛情一杯なお話に参加メンバーも真剣に聞き入っていました。





伊達ロータリークラブ……11月8日(火)

11月8日例会会場において、熊澤隆樹ガバナーをお迎えして公式訪問を開催しました。

会長・幹事懇談会を皮切りにクラブ協議会と例会を開催。会長・幹事懇談会では、クラブの取組みについて説明し、協議内容打合せや伊達市の取組みなど幅広く意見交換をすることができました。

クラブ協議会では、各担当委員会委員長と入会3年以下の会員も出席して、4大奉仕委員会委員長より、今年度の活動計画及び目標について報告と質疑応答のあと、ガバナーからこれらに対する総括及び指針が示されました。

例会には44名の会員が出席、会長挨拶、昼食に続き内池ガバナー補佐から熊澤ガバナーの紹介のあと、ガバナーから「今年度の地区大会」「RI会長の言葉」「RIの動向」「地区の目標」を中心とした講話をいただき、最後に会長の謝辞でガバナー公式訪問を無事終了しました。

市長表敬訪問では、イチゴ農家支援事業への取組みについて菊谷市長と幅広く意見交換をなされておりました。



室蘭東ロータリークラブ……11月9日(水)

室蘭東ロータリークラブには、11月9日(水)、熊澤ガバナーはじめ、内池ガバナー補佐、廣瀬ガバナー補佐幹事の3名によるご訪問をいただきました。はじめに行われた会長・幹事懇談会では、熊澤ガバナーがクラブの特色や、当年度の基本的な方針についてのご質問がありました。出席した小林会長、松永会長エレクト、佐々木幹事は、家族ぐるみの親睦が当クラブの活動を支えていることや、RIテーマ、地区目標に沿って練られたクラブの方針を説明し、熊澤ガバナーの講評を受けました。

次に行われたクラブ協議会では、各委員長から当年度の活動計画について説明がなされ、熊澤ガバナーからは、自らの経験なども交えながら、多くのアドバイスをいただきました。

また、この後の例会では、RIのテーマや、長期計画、地区の目標、4つのテストなどに触れて卓話をいただき、当クラブへの公式訪問の全てを終了いたしました。



室蘭ロータリークラブ……11月10日(木)

11月10日(木)、熊澤ガバナー、内池ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。

10時からの会長・幹事懇談会では10月22日に行われた当クラブの75周年記念式典にガバナーにも出席いただいたことで、ロータリーの歴史が話題となり、これからのロータリー、CLPへの取り組み方の教示をいただきました。

11時からの公式訪問クラブ協議会では4大奉仕委員会委員長が活動計画と実績を報告し、熊澤ガバナーより「会員増強は会員一人ひとりが意識を持って取り組んでほしい」「内なる職業奉仕も重要だ。各会員の職業を誇りを持って他者にはっきりと示そう」などと講評をいただきました。

公式訪問例会では出席会員に「会員のやる気を起こさせる全員参加型のプログラムをつくろう」と力を込められ、「室蘭RCは会員を50人にする力がある。協力しアイデアを尽くしてほしい」と激励をいただきました。



苫小牧北ロータリークラブ……11月15日(火)

11月15日、熊澤ガバナーをお迎えして苫小牧北ロータリークラブのガバナー公式訪問が行われました。15日当日は当クラブメンバーの岡田ガバナー補佐と共に会長・幹事で9時18分着のJRでお越しになった熊澤ガバナーを苫小牧駅でお出迎え、徒歩で公式訪問会場のグランドホテルニュー王子までご案内しました。到着早々ホテルまでの道すがら、ガバナーには会員増強のポイントをご教示いただき、ホテル到着後まだ予定時刻にはなっておりませんでした。すぐに会長・幹事懇談会、精力的にクラブ運営についてご指導いただきました。特に今年度より当クラブでも取り入れているCLPの組織の問題点について、歯切れの良いご指摘をいただきました。

また公式訪問クラブ協議会では、特に当クラブが16年前に提唱して発足したRCC（地域共同体）苫小牧家庭生活カウンセリング協会についての説明に熱心に耳を傾けていただきました。

公式訪問例会では当クラブメンバーにロータリーの心（こころ）について今年度RIバネルジー会長の意をわかりやすく熱心に卓話をいただきました。

あっという間の公式訪問でしたが熊澤ガバナーのロータリーへの情熱にふれ当クラブのメンバー一同大変有意義な時間をいただくことが出来た一日でした。



札幌東ロータリークラブ……11月17日(木)

11月17日(木)、札幌市内には昨夜未明に降った雪が残る中、熊澤隆樹ガバナー、第5グループ齋藤康嗣ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

10時から会長、会長エレクト、幹事と懇談会が行われ、熊澤ガバナーが当クラブに対して感じた事などの話をされ適切なアドバイスを頂きました。11時からのクラブ協議会では、代表してクラブ奉仕委員会から4委員長、職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員会から2委員長、新世代委員長、SAAから活動内容の発表があり、各委員会の活動に対する的確なアドバイスやお褒めの言葉を頂きました。

12時30分からの例会では国際ロータリーのテーマについて主旨説明をわかりやすくされ、これからのロータリー活動について、会員一同勉強になりました。メンバー全員の拍手でお送りして、無事公式訪問は終了しました。



札幌手稲ロータリークラブ……11月19日(土)

11月19日(土)、熊澤ガバナー、石谷ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が行なわれました。会長・幹事懇談会に於いては、CLPの実施について評価される一方、奉仕プロジェクトとロータリー財団のあり方について指導を戴きました。

クラブ協議会に於いては、五大奉仕委員会の活動計画および実施状況の報告について、熱心に耳を傾け、適切なアドバイスを戴くとともに質問にも親切にお答え戴きました。

ガバナーは、西区手稲区中学校スポーツ大会が30年続いていることに感動され、開会式出席の約束と大会運営への特別な協力の申出には、会員より大きな拍手が沸きあがりました。

例会では、熱く語られるガバナーの卓話を頂戴し公式訪問が終わりました。





札幌清田ロータリークラブ……11月22日(火)

11月22日(火) 熊澤隆樹ガバナーと齋藤ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問を頂きました。会長・幹事懇談会では、当クラブの会員数を考え、現在の活動が負担や無理が有るのではとご心配頂きましたが、その後のクラブ協議会での各委員長報告等で、長い年月の中での奉仕活動の継続取り組みに質問を交え熱心にお聞き取り頂き、その活動が正にCLP推進の実行だとの評価を得るところとなりました。その後の例会では、RI会長の真のロータリアンとしての奉仕の理想、思いやる心こそが人としての道である事、そして会員増強がクラブ活性化に繋がる事等々、熱い想いでお話し下さり当クラブの今後に期待と評価を頂き訪問を終えました。齋藤ガバナー補佐は最後のクラブ訪問との事、ご多忙の中、ご両人のご健勝を会員一同願っております。



札幌西ロータリークラブ……11月29日(火)

11月29日(火)に札幌西ロータリークラブに熊澤ガバナーが公式訪問されました。札幌地区クラブとしては最後の訪問先で、2510地区としても残り3カ所となり、熊澤ガバナーの顔色も、疲れと安堵感が入り混じったような表情にお見受けしました。早速、会長・幹事懇談会が行われ、ガバナーより数々の提案やご指導を戴きました。その飾りのない、心より発せられる語り方は、強く我々の心の中に残りました。その後24名出席のクラブ・アッセンブリーにおいても、熱心に札幌西クラブの活動を聞いて下さり、その一つ一つに寸評を戴きました。また、例会においては打ち解けた表情を見せておりましたが、ガバナーの講話に入られると、ロータリーに寄せる熱い想いは、会長・幹事懇談会から通して色あせることなく、当クラブ全会員の心に感銘を残し、熊澤ガバナーの温かい人柄に触れて、ガバナー公式訪問は名残惜しく終了しました。



岩内ロータリークラブ……12月1日(木)

岩内地方特有の風雪の中で、熊澤ガバナーをお迎えすることになりました。同行戴きました谷口ガバナー補佐らと共に10時より会長・幹事懇談会が行われましたが、クラブ運営に新会員が馴染むよう入会1年未満の会員で、次年度幹事予定者をオブザーバーとして出席させたことから、熊澤ガバナーご自身の体験談に終始しロータリーの原点を学習させて戴きました。当クラブは、少数会員であるため2007~08年度にCLPを導入しておりますが、運営方法に反映させた独自の細則等の修正項目が、効果的に機能するよう運営管理に心掛け、クラブの良き伝統を大切に会員相互の親睦融和を深めながら「元気なクラブづくり」の熱意に対して評価を戴きました。特に小学生手作り絵本コンクールについて関心を示され充実した奉仕活動に敬意を表するとの言葉を戴き公式訪問を終えることが出来ました。



札幌大通公園クラブ10周年記念フォーラム

札幌大通公園RC会長 **霜山 龍志**

11月12日（土）午後、ホテルノースシティで当クラブの10周年記念例会を開催しました。2001年6月11日創設以来452回目の例会となります。

併催したフォーラムはRIの一大目標であるポリオプラス運動にちなんで予防接種の過去と未来と銘打ったものでした。ロータリーからの参加は、齋藤ガバナー補佐、石垣パストガバナー、荒又名誉会員の3名とさびしいものでしたが、旬の話題であることもあり、一般市民あわせて55名の参加があり、盛り上がりました。

座長の富樫元市立病院長はインフルエンザワクチンが副作用を避けるために有効性を犠牲にしたことを明らかにされ、一方堤札幌医大教授はポリオワクチンはまず生ワクチンで撲滅してそれから不活性化ワクチンでその状態を維持することが大切だと講演されました。狩野厚生病院副院長はB型肝炎の恐ろしさについてわかりやすく説明されました。大島徳洲会病院医師と梶川クラブ会員の予防接種論争も興味深く、2時間のフォーラムは成功裏に終わりました。

新会員の紹介

(敬称略)



静内RC
四ツ屋義道
9月26日入会
料理店



静内RC
北上 美徳
9月26日入会
環境整備

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



佐藤 彰二 会員 (千歳RC)

2011年11月26日逝去(享年59歳)

【ロータリー歴】

2010年7月 入会

ロータリー財団米山記念奨学委員長



齋藤 元護 会員 (札幌南RC)

2011年12月1日逝去(享年86歳)

【ロータリー歴】

1967年3月6日 入会

1973~74年度 幹事

1994~95年度 会長

【表彰関係】

マルチプル・ポール・ハリス・

フェロー 3回

米山功労者メジャードナー 10回



■ クラブ幹事の変更について

札幌手稲RC幹事の退会により下記の方に幹事が変更となりましたのでお知らせ致します。宜しくお願い申し上げます。

新幹事：中川原 憲

勤務先 コスモ新薬(株) 代表取締役

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目4 タキモトビル4階

TEL011-218-4717 FAX 011-218-4718

バンコク国際大会 日本人親善朝食会開催のお知らせ

2012年RI国際大会がタイのバンコクにおいて5月6日～9日まで開催されます。恒例となっております「日本人親善朝食会」を開会式当日に下記要領で開催致しますので、取り急ぎお知らせいたします。お申込み方法など詳細につきましては、また改めてご案内させていただきますので、もうしばらくお待ちください。

記

日 時 2012年5月6日(日) 開場 6:00 朝食会 6:30～8:00

場 所 THE IMPERIAL QUEEN'S PARK HOTEL (ザ インペリアル クイーンズ パーク ホテル)

住所：199 SUKHUMVIT SOI 22, PRAKANONG, BANGKOK 10110, THAILAND

電話：(02) 2619000 Fax：(02) 2619514

会 費 一人 4,800円(着席)

日本人親善朝食会担当：小林久美枝 TEL:06-6313-2660 FAX:06-6313-2661

文庫 通信



(291号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- | | | | | |
|-----------------------------------|------|------|-----|-----------------|
| ◎ 「米山記念館と東京ロータリークラブの協力関係」 | 宮本四郎 | 2011 | 2p | (米山梅吉記念館館報) |
| ◎ 「親睦Fellowshipについて」 | 本田博己 | 2011 | 2p | (ロータリーの力) |
| ◎ 「歴史に残る1ページ：『ロータリー年度』の由来」 | RI | 2011 | 1p | (国際ロータリー・ニュース) |
| ◎ 「歴史に残る1ページ：研究グループ交換のはじまり」 | RI | 2011 | 2p | (国際ロータリー・ニュース) |
| ◎ 「財団が『ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金』を設立」 | RI | 2011 | 2p | (国際ロータリー・ニュース) |
| ◎ 「今、ロータリー・ルネッサンスのとき」 | 関場慶博 | 2011 | 10p | (D.2530地区大会記録) |
| ◎ 「ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業倫理」 | 安平和彦 | 2011 | 12p | (D.2500地区大会報告書) |
| ◎ 「ロータリーの奉仕活動について」 | 前川昭一 | 2011 | 5p | (D.2720地区大会記録) |
| ◎ 「歴史に残る1ページ：会場監督」 | RI | 2011 | 1p | (国際ロータリー・ニュース) |

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◆米山功労者

深川RC 中 公一郎 会員(1回)11月30日
江別西RC 増山 柳 会員(1回)11月 9日
札幌RC 加森 公人 会員(4回)11月29日

札幌南RC 川崎毅一郎 会員(1回)11月21日
室蘭北RC 菅原 悦子 会員(1回)11月30日
函館RC 太刀川善一 会員(15回)11月14日
函館RC 富田 恒一 会員(1回)11月14日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深川RC 吉本 勲 会員(4回)11月30日
深川RC 成田 雅敏 会員(2回)11月30日
深川RC 成田 昭彦 会員(2回)11月30日
札幌RC 加森 公人 会員(2回)11月30日
札幌はまなすRC 大石 春雄 会員(1回)11月 4日
千歳セントラルRC 羽芝 涼一 会員(4回)11月28日
室蘭北RC 内池 真人 会員(2回)11月30日

室蘭北RC 川本 康裕 会員(2回)11月30日
室蘭北RC 工藤 克彦 会員(1回)11月30日

◆ポール・ハリス・フェロー

深川RC 大西 祥太 会員 11月30日
深川RC 中 公一郎 会員 11月30日
千歳セントラルRC 白木 松敏 会員 11月28日
千歳セントラルRC 羽生 有三 会員 11月28日

2011-2012年度 カ レ ン ダ ー (下半期)

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地区の行事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事・IM、クラブ周年行事
平成24年(11月)	ロータリー理解推進月間	1	7(土) 28(土)	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 2012学年度米山奨学生選考試験(札幌) オーストラリア青少年交換学生歓迎会他(札幌)	15(日)~ 21(日)	国際協議会(米国・サンディエゴ)	
	世界理解月間 ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日(2/23)	2	11(土) 25(土)	国際奉仕検証事業実施予定 財団学友会創立10周年記念式典(札幌) 2012-13年度ガバナー補佐研修セミナー(札幌) 2012-13年度地区チーム研修セミナー(札幌)	4(土) 5(日) 10(金) 18(土) 26(日)		第9グループIM(室蘭) 第12グループIM(苫小牧) 第2グループIM(芦別) 第10・11グループ合同IM(函館) 第6グループIM予定
	識字率向上月間 世界ローターアクト週間 (3/13を含む1週間) 世界ローターアクトの日 (3/13)	3	3(土) 10(土)~ 11(日) 11(日) 24(土)	2012年3月終了米山奨学生歓送会(札幌) 2012-13年度会長エレクト研修セミナー (新ひだか町) 2012-13年度財団・米山セミナー(新ひだか町) 青少年交換学生春季スキーキャンプ予定	3(土) 17(土) 18(日) 24(土) 31(土)		第8グループIM(えりも) 江別RC50周年記念式典予定 第7グループIM予定 室蘭北RC40周年記念式典予定 第4・5グループ合同IM予定(札幌)
	ロータリー雑誌月間	4	7(土) 8(日) 28(土)	地区協議会 前日打合せ会議(新ひだか町) 2012-13年度地区協議会(新ひだか町) 第1840地区(ドイツ)HGSEチーム派遣予定	19(木) 20(金)~ 21(土) 22(日) 28(土)~ 29(日)	韓国第3700地区大会(大邱) 第17回日本青少年交換研究会(札幌)	札幌西北RC35周年記念予定 江別西RC20周年記念式典予定
	RI国際大会	5	26(土)	北海道米山学友会家族懇親会	6(日)~ 9(水) 19(土) 20(日)	国際大会(タイ・バンコク)	岩内RC50周年記念式典予定 第1グループIM予定
	ロータリー親睦活動月間	6	10(日)	現新地区委員長・ガバナー補佐合同引継ぎ会議 インターアクト年次大会 ローターアクト年次大会 2011-2012年度終了	2(土) 23(土)		函館亀田RC40周年記念式典予定 江差RC50周年記念式典予定
			7 8 9	2011-2012年度残務整理			

2012年1月のロータリーレート 1ドル78円



出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2011.7.1	2011.11.30	増減	内女性	
1	深川	4	33	37	4	2	84.00
	羽幌	3	50	50	0	2	78.72
	妹背牛	4	9	10	1	0	90.00
	留萌	4	44	43	-1	3	76.49
	小計		136	140	4	7	82.30
2	赤平	4	29	27	-2	0	73.10
	芦別	3	37	36	-1	1	80.95
	砂川	4	48	52	4	0	94.87
	滝川	3	84	88	4	2	77.00
	小計		198	203	5	3	81.48
3	美唄	3	34	35	1	0	83.06
	江別	3	29	34	5	2	83.33
	江別西	5	25	27	2	3	88.20
	岩見沢	3	81	82	1	0	93.00
	岩見沢東	4	23	23	0	5	86.14
	栗沢	4	23	23	0	1	93.45
	栗山	4	27	27	0	2	97.00
	当別	4	28	29	1	0	81.90
	小計		270	280	10	13	88.26
4	札幌	4	115	128	13	0	95.90
	札幌あけぼの	4	15	15	0	2	100.00
	札幌はまなす	4	18	19	1	3	86.84
	札幌北	3	39	40	1	6	86.67
	札幌モーニング	4	47	47	0	0	73.89
	札幌西	5	53	52	-1	5	89.72
	札幌西北	3	31	31	0	4	92.83
	札幌手稲	4	35	34	-1	2	86.21
	小計		353	366	13	22	89.01
5	札幌東	3	110	111	1	0	99.01
	札幌清田	5	19	19	0	5	97.64
	札幌幌南	4	51	52	1	0	100.00
	札幌真駒内	4	26	26	0	3	100.00
	札幌南	4	77	84	7	0	100.00
	札幌大通公園	4	8	10	2	1	77.50
	札幌セントラル	5	9	8	-1	4	80.00
	新札幌	4	28	28	0	3	90.22
小計		328	338	10	16	93.05	
6	岩内	3	20	20	0	0	91.67
	倶知安	4	39	40	1	6	77.50
	小樽	4	66	70	4	0	95.79
	小樽南	4	72	75	3	2	94.47
	小樽銭函	3	20	20	0	2	86.67
	蘭越	4	8	10	2	0	100.00
	余市	4	42	42	0	4	86.30
	小計		267	277	10	14	90.34

11月出席率・
会員増減数

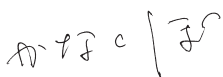
クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,573人
当月末会員数(女性)	2,659人(118人)
増加会員数	86人
当月平均出席率	85.75%

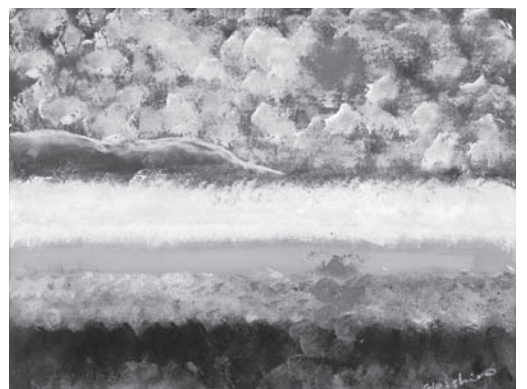
グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率	
			2011.7.1	2011.11.30	増減	内女性		
7	千歳	3	54	53	-1	2	77.20	
	千歳セントラル	4	32	32	0	1	80.83	
	恵庭	4	47	45	-2	3	84.33	
	北広島	5	12	15	3	0	81.33	
	長沼	3	20	20	0	3	78.00	
	由仁	3	9	9	0	1	85.19	
	小計		174	174	0	10	81.15	
8	えりも	3	22	26	4	1	88.46	
	三石	4	15	15	0	2	66.60	
	様似	4	23	23	0	1	78.30	
	静内	4	69	72	3	0	83.80	
	浦河	5	34	36	2	2	97.14	
	小計		163	172	9	6	82.86	
	9	伊達	5	56	56	0	0	80.35
		室蘭	4	37	40	3	0	100.00
室蘭東		4	37	38	1	0	92.10	
室蘭北		5	38	38	0	2	100.00	
登別		4	32	32	0	1	84.38	
洞爺湖		3	10	10	0	0	100.00	
小計			210	214	4	3	92.81	
10	函館	3	77	84	7	0	82.31	
	函館亀田	4	39	38	-1	4	91.05	
	森	4	40	43	3	0	70.60	
	七飯	4	14	14	0	0	69.64	
	長万部	4	7	8	1	0	68.75	
11	函館セントラル	4	29	31	2	2	71.78	
	小計		206	218	12	6	75.69	
	江差	4	11	11	0	1	88.89	
	函館五稜郭	4	43	42	-1	0	93.80	
	函館東	5	45	45	0	6	82.14	
	函館北	4	23	24	1	0	92.71	
12	北斗	3	17	15	-2	0	56.00	
	松前	4	3	3	0	0	66.00	
	小計		142	140	-2	7	79.92	
	白老	5	28	30	2	2	76.50	
	苫小牧	4	48	53	5	2	76.42	
	苫小牧東	3	26	28	2	4	89.28	
合計	苫小牧北	4	24	26	2	3	89.88	
	小計		126	137	11	11	83.02	
	合計		2,573	2,659	86	118	85.75	

小樽の日の出

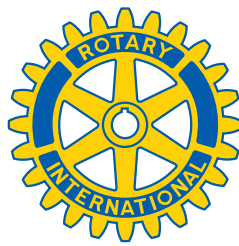
あけましておめでとうございます。正月とすることで日の出を選びましたが、実はこの絵のももとの題名は「だんご山からの9月4日朝5時15分」です。小生の高校同級生がだんご山に住んでおり、その庭から蚊と戦いながら描いた絵です。その同級生曰く「だんご山」という呼び名は野暮だったので、自分だけは「ルフランの丘」と言うシャレた名前を付けています。とはいえ、この「だんご山」今では外から見ても、どこが山なのか丘なのか さっぱり分からない状態です。

昨年は大変な年でしたが、今年こそ穏やかな一年であってほしいと願っております。広い心で、おおらかに過ごしたいものです。

小樽ロータリークラブ会長 金久保 兵士郎 作 



表紙絵：私の残したい小樽シリーズ
「日の出」 HEISHIRO.K



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

2011—2012

GOVERNOR

TAKAKI KUMAZAWA